

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和6年度> （ 浜名区 三ヶ日支所 ）

事業名	三ヶ日地区安全・安心まちづくり事業				
実施団体名	三ヶ日地区安全・安心まちづくり協議会				
事業の目的	防災、防犯等地域の安全安心に関わる昨今の社会情勢の変化等について、三ヶ日地区の関係者で学習し、地域の課題解決に向けて理解を深めていくことをめざす。				
事業の成果及び内容	【内容】 ・三ヶ日地区安全安心まちづくりを考える会として防犯と防災の講座を開催した。 ・交通安全及び防災の情報に関する展示を行った ・啓発用チラシを自治会で回覧、防災啓発品を、来場者等に配布し、防犯・防災に関する周知啓発を図った。 ・事業開催の案内や啓発品を各種団体の会議や催しで配布し、防犯・防災に関する周啓発を図った。 【成果】 ・各種団体が連携、地域の人材が協力して事業展開できた。 ・細江警察署職員を講師に招いたことで、地域と警察との関りを深めることができた。講座終了後、国際電話を受信できなくなる方法などのチラシを持ち帰る姿が見られた。 ・防災の講座は、フリガナを振った説明資料や具体的な写真（能登半島地震の被災地）を交えて震災後の状況を時系列に説明するなどの分かり易い説明により地域住民の方により具体的な避難行動を伝えられた。 ・講座や展示来場者に防災や交通安全に関する啓発グッズを配布したことにより、安全に対する意識を向上する効果が得られた。 ・啓発活動の影響で、講座に聴覚障がい者の方や高齢者の参加もあり、日常の生活に不安を感じている方にも参加していただけた。 ・外国人雇用が見込まれる事業所に案内や防災に関するパンフレットを郵送で案内したり、訪問をしたりして、外国籍の方へのアプローチを試みることができた。				
総事業費	151,129 円		補助金額	75,000 円	
評価	項 目	ランク			
		A	B	C	
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い	
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い	
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い	
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い	
	5) 費用対効果	高い	普通	低い	
今後改善を期待する点					
意見等	地域ならではのネットワークで参加者を集められており、住民の安全安心及び生命財産を守ることにつながる事業であると認められる。 市民の安全・安心に関する事業であるため、財政支援の必要性は高いと思われる。				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和6年度> （ 浜名区 北行政センター ）

事業名	地域の子どもたちに未来をひらく学習応援事業			
実施団体名	特定非営利活動法人 まちづくり細江			
事業の目的	地域の世代間交流を活性化するとともに、講座の運営をとおり今後のコミュニティ協議会の運営に必要なノウハウを得る。			
事業の成果及び内容	（内容） - 親子で学ぶスマートフォンの安全な使い方講座 - 地域の産物を使ったクリスマススイーツづくり講座 - 北消防署員を講師に招いた災害から身を守るための体験学習講座 （成果） - 子ども 21 名、大人 53 名の合計 74 名の参加があり、運営スタッフを含めた世代間での交流を活性化することが出来た。 - 地元人材を講師に登用し、地域の人に活躍の場を提供することが出来、地元の人的資源について地域に周知することにつながった。 - 講座の企画、運営をとおり、地域コミュニティ協議会の運営にむけて必要な知識やスキルを得ることが出来た。			
総事業費	127,101 円	補助金額	50,000 円	
評価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点				
意見等	目標を 14 名上回る参加を得られており、課題とした地域の世代間交流活性化に寄与したと認められる。また、細江地区の地域づくりの核となるコミュニティ協議会のノウハウ向上につながったと考えられる。今後、本事業を通して得たノウハウを生かして地域の世代間交流をより活性化する取り組みを期待する。 事業終了後はアンケート調査を実施し、より良い事業運営を期待する。			

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和6年度> （ 浜名区 北行政センター ）

事業名	井伊直虎ゆかりの地 ウォークラリー			
実施団体名	直虎顕彰会			
事業の目的	若年層に引佐地域が井伊直虎ゆかりの地であることを認識していただくとともに、地域の歴史や理解度向上、地域愛の醸成につなげる。			
事業の成果及び内容	（内容） 小学生を主な対象とし、井伊直虎ゆかりの地を巡るウォークラリーを直虎顕彰会員による解説つきで実施した。 （成果） ・目標 30 名に対し、39 名の参加があり多くの方に引佐地域が井伊直虎ゆかりの地であるという認識をしていただくことができた。 ・参加者の 66%が小学生以下であったため、若年層にも井伊直虎ゆかりの地を訴求することができた。 ・ウォークラリーに地域の有識者を登用し、文化遺産をめぐるコースを設定する等、地域資源を有効活用し実施した。			
総事業費	135,300 円	補助金額	67,000 円	
評価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点				
意見等	目標値より 30%上回る参加があり、引佐地域が井伊直虎ゆかりの地であるという認識を広めることにつながったと認められる。また、地元有識者の登用や文化遺産をめぐるコース設定等、地域資源を活用している点も評価できる。 次年度に向けて、事業実施後のアンケート調査を実施し参加者の意見を伺い実施することが、より良い事業に繋がると思われる。 今後は、引佐地区の魅力を地域内外に発信するイベントとして、自立し継続されることを期待する。			